

# Imperial Edict of End of War

## Edict Recitation by Emperor (Audio)

### Manuscript

朕 深ク 世界ノ大勢ト 帝國ノ現状トニ鑑ミ 非常ノ措置ヲ以テ 時局ヲ收拾セムト欲シ 茲ニ 忠良ナル爾臣民ニ告ク

朕ハ 帝國政府ヲシテ 米英支蘇四國ニ對シ 其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨 通告セシメタリ

抑々 帝國臣民ノ康寧ヲ圖リ 萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ 皇祖皇宗ノ遺範ニシテ 朕ノ拳々措カサル所 曩ニ 米英二國ニ宣戰セル所以モ 亦 實ニ 帝國ノ自存ト 東亞ノ安定トヲ庶幾スルニ出テ 他國ノ主權ヲ排シ 領土ヲ侵スカ如キハ 固ヨリ 朕カ志ニアラス 然ルニ 交戰 已ニ 四歳ヲ閱シ 朕カ陸海將兵ノ勇戰 朕カ百僚有司ノ勵精 朕カ一億衆庶ノ奉公 各々 最善ヲ盡セルニ拘ラス 戰局 必スシモ 好轉セス 世界ノ大勢 亦 我ニ利アラス 加之 敵ハ 新ニ 殘虐ナル爆彈ヲ使用シテ 頻ニ 無辜ヲ殺傷シ 慘害ノ及フ所 眞ニ 測ルヘカラサルニ至ル而モ 尚 交戰ヲ繼續セムカ 終ニ 我カ民族ノ滅亡ヲ招來スルノミナラス 延テ 人類ノ文明ヲモ破却スヘシ 斯ノ如クムハ 朕 何ヲ以テカ 億兆ノ赤子ヲ保シ 皇祖皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ 是レ 朕カ帝國政府ヲシテ 共同宣言ニ應セシムルニ至レル所以ナリ

朕ハ 帝國ト共ニ 終始 東亞ノ解放ニ協力セル諸盟邦ニ對シ 遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得ス 帝國臣民ニシテ 戰陣ニ死シ 職域ニ殉シ 非命ニ斃レタル者 及 其ノ遺族ニ想ヲ致セハ 五内爲ニ裂ク 且 戰傷ヲ負ヒ 災禍ヲ蒙リ 家業ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ 朕ノ深ク軫念スル所ナリ 惟フニ 今後 帝國ノ受クヘキ苦難ハ 固ヨリ尋常ニアラス 爾臣民ノ表情モ 朕 善ク之ヲ知ル 然レトモ 朕ハ 時運ノ趨ク所 堪ヘ難キヲ堪ヘ 忍ヒ難キヲ忍ヒ 以テ 萬世ノ爲ニ太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ 茲ニ 國體ヲ護持シ得テ 忠良ナル爾臣民ノ赤誠ニ信倚シ 常ニ 爾臣民ト共ニ在リ 若シ 夫レ 情ノ激スル所 濫ニ 事端ヲ滋クシ 或ハ 同胞 排擠 互ニ 時局ヲ亂リ 爲ニ 大道ヲ誤リ 信義ヲ世界ニ失フカ如キハ 朕 最モ之ヲ戒ム 宜シク 舉國一家子孫 相傳ヘ 確ク 神州ノ不滅ヲ信シ 任重クシテ道遠キヲ念ヒ 總カヲ 將來ノ建設ニ傾ケ 道義ヲ篤クシ 志操ヲ鞏クシ 誓テ 國體ノ精華ヲ發揚シ 世界ノ進運ニ後レサラムコトヲ期スヘシ 爾臣民 其レ 克ク 朕カ意ヲ體セヨ

裕仁 天皇

御璽

昭和二十年八月十四日

內閣總理大臣 男爵 鈴木貫太郎

海軍大臣 米内 光政

司法大臣 松阪 廣政

陸軍大臣 阿南 惟幾

軍需大臣 豊田貞次郎

厚生大臣 岡田 忠彦

國務大臣 櫻井兵五郎

國務大臣 佐近司政三

國務大臣 下村 宏

大藏大臣 廣瀬 豊作

文部大臣 太田 耕造

農商大臣 石黒 忠篤

內務大臣 安倍 源基

外務大臣 兼

大東亞大臣 東郷 茂徳

國務大臣 安井 藤治

運輸大臣 小日山直登

朕深ク世界ノ大勢ト帝國ノ現状トニ鑑ミ非  
常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ忠  
良ナル爾臣民ニ告ク

朕ハ帝國政府ヲシテ米英支蘇四國ニ對シ  
其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタ  
リ

抑、帝國臣民ノ康寧ヲ圖リ萬邦共榮ノ樂  
ヲ偕ニスルハ皇祖皇宗ノ遺範ニシテ朕ノ拳々  
措カサル所曩ニ米英二國ニ宣戰セル所以モ  
亦實ニ帝國ノ自存ト東亞ノ安定トヲ庶幾

内閣

スルニ出テ他國ノ主權ヲ排シ領土ヲ侵スカ如キ  
ハ固ヨリ朕カ志ニアラス然ルニ交戰已ニ四歲  
ヲ閱シ朕カ陸海將兵ノ勇戰朕カ百僚有司  
ノ勩精朕カ一億衆庶ノ奉公各、最善ヲ盡セル  
ニ拘ラス戰局必スシモ好轉ス世界ノ大勢亦我ニ利  
ラス加之敵ハ新ニ殘虐ナル爆彈ヲ頻ニ無辜ヲ殺傷シヲ使用シ慘害  
ノ及フ所眞ニ測ルヘカラサルニ至ル而モ尚交戰ヲ  
繼續セムカ終ニ我カ民族ノ滅亡ヲ招來スルノ  
ミナラス延テ人類ノ文明ヲモ破却スヘシ斯ノ  
如クムハ朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ皇祖

皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ是レ朕カ帝國  
政府ヲシテ共同宣言ニ應セシムルニ至レル所  
以ナリ

朕ハ帝國ト共ニ終始東亞ノ解放ニ協力セ  
ル諸盟邦ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得  
ス帝國臣民ニシテ戰陣ニ死シ職域ニ殉シ非  
命ニ斃レタル者及其ノ遺族ニ想ヲ致セハ五  
内爲ニ裂ク且戰傷ヲ負ヒ災禍ヲ蒙リ家業  
ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ朕ノ深ク軫念ス  
ル所ナリ惟フニ今後帝國ノ受クヘキ苦難ハ

内

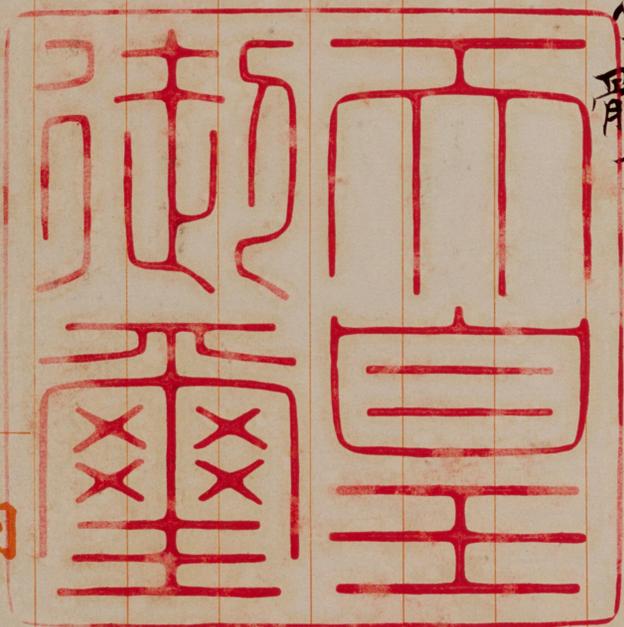
閣

固ヨリ尋常ニアラス爾臣民ノ衷情モ朕善  
ク之ヲ知ル然レトモ朕ハ時運ノ趨ク所堪ヘ  
難キヲ堪ヘ忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ萬世ノ爲ニ  
太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ茲ニ國體ヲ護持シ得テ忠良ナル爾臣  
民ノ赤誠ニ信倚シ常ニ爾臣民ト共ニ在リ  
若シ夫レ情ノ激スル所濫ニ事端ヲ滋クシ或  
ハ同胞排擠互ニ時局ヲ亂リ爲ニ大道ヲ誤  
リ信義ヲ世界ニ失フカ如キハ朕最モ之ヲ戒  
ム宜シク擧國一家子孫相傳ヘ確ク神州ノ

不滅ヲ信シ任重クシテ道遠キヲ念ヒ總力ヲ將來ニ建  
設ニ傾ケ道義ヲ篤クシ志操ヲ鞏クシ誓言ニ國體  
ノ精華ヲ發揚シ世界ノ進運ニ後レサラムコトヲ期スニ爾臣  
民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

裕仁



内閣  
閣

昭和二十年八月十四日

内閣總理大臣男爵鈴木貫太郎

海軍大臣 米内光政

司法大臣 松阪廣政

陸軍大臣 阿南惟幾

軍需大臣 豊田貞次郎

厚生大臣 岡田忠彦

國務大臣 櫻井兵五郎

國務大臣 八所司長三

國務大臣 下村一宏

大藏大臣

廣瀨豐作

文部大臣

太田耕造

農商大臣

石星志篤

内務大臣

安原基

外務大臣兼  
大東亞大臣

東郷茂徳

國務大臣

安井藤治

運輸大臣

小日山直登



Douglas MacArthur (First step in Japan at Atsugi airport)



Douglas MacArthur & Emperor Hirohito (Showa; 昭和)



Emperor Hirohito (before World War II)



Emperor Hirohito (after World War II)